

2023年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
建築計画特論											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	山田 盛久			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
大学院の意匠・歴史研究室にて西洋建築史研究と横浜・鎌倉の歴史的建造物の実測調査・保存活動に携わる。その後、一級建築士事務所を設立し住宅設計・監理を経験。本校の非常勤講師を経て常勤教員として設計教育に従事。											
授業概要											
この授業では教科書を利用した講義と国家試験同等の問題を中心に演習、解説を行うことで2級建築士同等レベルの実践的知識の習得を行う。同時に模擬試験を実施、国家資格合格を目指す。											
到達目標											
この科目では、建築設計者の国家資格である2級建築士試験と同等レベルの問題についてコンスタントに70%以上の正解率をあげられることを目標とし、学科試験に合格することを到達目標としている。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・授業中の私語や受講態度、および教室での飲食、器物損壊などには厳しく対処する。 ・課題の進捗状況に応じて、板書等で説明したり、資料を配布する。											
教科書教材											
教科書、問題集、資料などプリント配布											
回数	授業計画										
第1回	腕試し模試 1, 2年までの理解度、特に計画各論、建築史、都市計画を把握する（振替講義において模試形式）										
第2回	計画各論1 住宅、集合住宅										
第3回	模擬試験 1 模擬試験を行い到達度を把握するとともに採点の一部とする（振替講義において模試形式）										
第4回	建築史 建築史フラッシュ問題										
第5回	計画各論2 事務所・店舗										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
建築計画特論	
第6回	計画各論3 宿泊施設・文化施設
第7回	計画各論4 教育施設
第8回	模擬試験2 模擬試験を行い到達度を把握するとともに採点の一部とする（振替講義において模試形式）
第9回	計画各論5 医療・福祉施設
第10回	計画各論6 各部計画
第11回	計画各論7 建築生産
第12回	計画各論8 都市計画
第13回	模擬試験3 模擬試験を行い到達度を把握するとともに採点の一部とする（振替講義において模試形式）
第14回	計画各論9 建築史 2
第15回	試験 国家試験と同等の試験により採点を行う